



日本の思想を現代に落とし込む

和と洋のクロスオーバー

COTTLE

代表 わたなべ **渡邊** としあき **稔晃** さん

衣類、ジーンズ製品の製造販売

倉敷市児島田の口4丁目2-46

TEL.086-441-3889

HP:<https://cottle.jp>



【店名の由来は？】

「cotton(わた)」と「kettle(なべ・道具)」を組み合わせた造語です。真ん中にTが2つあり前後を組み合わせて「COTTLE」という名前になりました。

【創業した理由は？】

服に興味があり、友人から服を褒められたことがうれしかったことがきっかけです。高校卒業後も服への興味は薄れず、「文化服装学院」に入学しました。

そして、在学中に見島で繊維業が盛んであることを知り、故郷で自分のブランドを立ち上げたいと思ったのがきっかけです。また、地元の人も県外の人にも楽しめる空間にしていきたいと思っています。

【こだわり・店の強みは？】

アバンギャルド(きらびやか)を求めず、どの年齢でも着続けられるカジュアルさを追及しています。着込んでいくことで味が出る為、「自分だけの一着」を育てることができます。

また、日本古来の製法を現代に組み込み、植物由来の柿渋染めやあかね染めなどの商品を製作しています。

さらに、繊維業と手工芸の、双方の歴史や伝統の架け橋になるものが作りたいという思いから昔の製法と現代の製法のクロスオーバーで、唯一無二の製品を作っています。

日本の伝統的な技法を欧州に広めるために越境 EC を活用しています。

【若い世代に伝えたいことは？】

見聞を広め、自分の価値観を養うことが大切です。色々な経験を積み、疑問を持つことが大切で、『価値あるもの』を比較、選択できるようになると思います。

また、自分なりのルーティンを見つけ、好きなことに自信を持てるようになってほしいです。そうして、自分自身で『価値あるもの』を生み出し、人に喜んでもらえたら、きっと皆さんの人生も豊かなものになると思います。

インタビューをしてみても・・・

使用する素材からこだわり、受注してから製品を作っているため、一着への愛情を感じました。どこにでもあるような商品では無く、COTTLEでしか買えない為、自分だけの一着を見つけることができ、見ているだけでもワクワクします。

インタビュー中に店内を見せていただくとジーンズに目を引かれました。セルヴィッチや革パッチ・ボタンなどの細部にCOTTLE独自の仕様が施されており、思わず手をのばしてしまいます。ジーンズは履き方によって色落ち、傷み方が変わるので、味が出ていき自分だけの一着を育てる楽しみもあります。



店内は、古民家の温かさもあり落ち着いた空間でした。インタビューを終えるころには、私たちもCOTTLEの魅力にすっかり虜になっていました。またゆっくり見せていただき、「自分だけの一着」を探しに行きたいです。

お忙しい中、インタビューを受けてくださりありがとうございました。

作成：2022年度新入職員一同

